

目標達成計画

作成日：平成 26 年 4 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議で、事業報告等、研修報告、今後の予定などをお伝えしたりしているが、報告が主で、ご意見を多くはいただけていないのが現状。逆に地域の様子などの情報はいただけるが、ホームの運営に関して、出席者にご意見を多くいただけるようになる必要がある。	運営推進会議の出席者の方に、ホームの中の事をより知っていただき、運営推進会議上でたくさんの意見をいただけるようになる。	地域に根ざしたグループホームとして、中の行事などに積極的にご参加いただけるよう声かけをし、現状を知っていただいた上で、運営推進会議に参加していただけるようにする。公園の草抜きなどに積極的に地域貢献することで、地域の様子を知る努力をする。	3ヶ月
2	27	個別の記録に、したこととの記載はあるが、その時の表情、言動、様子などの詳しい記録は詳しく書けていないのが現状。	記録を、数字等の記録だけではなく、言葉や表情、様子など、多くの情報を残してケアに活かせる様、全ての職員が意識を持って取り組める。	職員がチェック欄の記載だけでなく、実施した内容の他にその時の表情、様子などの記載を心がけ、自由記載欄の記録量を増やす。	6ヶ月
3	3	認知症サポーター養成講座を実施したが、地域の参加者が1名と少なかった。	認知症について、地域に情報発信できるよう職員の研修機会を、地域に開放し、更に参加者を増やす。	認知症ケアについての研修機会を、地域の方にも積極的に声かけし、認知症について情報発信する。公園の草抜きなどに積極的に参加し、地域貢献する中で、オープンなグループホームを目指し、参加しやすい雰囲気作りをする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。